

平成 28 年度四国手話講座担当講師研修会

一般社団法人 高知県聴覚障害者協会
〒780-0928 高知県高知市越前町二丁目 4 - 5 3 階

助成事業の概要

実施目的は、手話養成講座を担当する人たちが、よりよい指導できるようにするために、研修や講習を開催する。初めて学ぶ人から手話通訳を目指す人まで幅広い人たちに「手話とは何か」「手話通訳とは」「手話は言語である」いろいろなことをひとりでも多く知っていただき、指導者の育成を目的とする。

時期は、2017 年 3 月 12 日に開催し、内容は指導者に必要な基本知識を持った講師をお招きし、講義を受ける。講義をもとに分科会に分かれて意見交換、討議をして最後に全体会にてそれぞれが発表して情報共有したり、共通課題を整理したりする。手話ができることと手話通訳ができることの違いを知っていただくために何を教えなければならないか。講座ごとに学習の目標や指導法を学んだり、指導案を相互確認したり、それぞれの学習の到達目標を講師間が理解できているか確認する。それぞれの問題や課題を取り上げ、対策を考えたり、ベテランの方に教わったりして講師として必要な基本知識を獲得していく。

事業の成果

この事業で初めて学ぶ人から手話通訳を目指す人まで幅広い人たちに「手話とは何か」「手話通訳とは」「手話は言語である」いろいろなことをひとりでも多く知ってもらえ、指導者の育成ができたと思う。

また、講座ごとに学習の目標や指導法を学べ、

指導案の相互確認をしたりして、それぞれの学習の到達目標を講師間が理解できているか今回の事業で確認できたので開催できて良かったと思っている。今後、学んだことを地元で活かして、より良い手話講座を目指していき、また基本知識を獲得することで手話奉仕員、手話通訳者、手話通訳士の増加に効果を果たすことができるのではないかと思う。

それぞれの指導者が基本知識を持つことで、指導案を自分で考えたり、工夫したりできるようになる。それぞれが意見を出し合ってより良い手話養成講座の運営ができる効果がある。運営をスムーズに図るには事前準備や打ち合わせ、確認など講師間が行う大切さを知ることの効果がある。そして、指導にあたって受講者が予想外の質問やつまずきがあっても、柔軟な対応がスムーズできるようになる。このような効果があるということを知ることができて良かったと思う。

また、若手の指導者養成を地元でできるようになるとともに指導者不足解消につなげると確信している。

成果の広報、公表

四国ろうあ連盟が発行している機関紙「K I Z U N A」、四国の各協会や手話通訳問題研究会が発行している機関紙に掲載しました。また、四国ろうあ連盟、四国手話通訳者問題研究会の会議で、参加状況や今後の課題などの問題点を話し合いました。

手話を指導する講師の学習の一環として、担当講師に報告書にて報告します。

■ 今後の展開

毎年四国各県の持ち回り担当で開催していますが、若手の指導者養成を地元でできるようにしていくために、このような四国手話講座担当講師研修会を続けていきたいです。

参加者からの声をもとにして、指導者に必要な基本知識を持った講師に指導いただき、講師として必要な知識を獲得できるように毎年開催できるようにしたいと考えています。

来年度の開催地は愛媛県の予定です。